



映画「もういいかい」より

シネ・ヌーヴォーXでハンセン病とたたかい続ける人々の証言と100年にわたる

ハンセン病描くドキュメント映画

12日から「もういいかい」上映

たる歴史を伝えるドキュメンタリー映画「もういいかいーハンセン病と三つの法律」(2012年、高橋一郎監督 143分)が12日(土)から25日(金)まで大阪市西区のシネ・ヌーヴォーXで上映されます。国策によって、ハンセン病という理由だけで、強制隔離され、名前を変えさせられたり、故郷への帰郷も許されなかったハンセン病患者たち。断種・墮胎・園内労働による手足の障害、監房・重官房など、療養所の中で何が行わ

れ、入所者がどのような生活を送っていたのかなど、多くの証言を基に仕組みと実態を検証。「癩予防二関スル件」(明治40年)など3つの法律を基に展開された絶対隔離政策など、100年にわたるハンセン病の歴史を描きます。

12日(土)～18日(金)午前11時半、午後6時半(17日6時半の回休映)、19日(土)～25日(金)午前11時半。劇場へは地下鉄九条駅下車。料金11一般1500円、学生・シニア・高校生以下1千円。※本紙記事持参で1千円に割引。06・6582・1416劇場。